

## 令和3年度 学校運営等に関する評価書

和歌山市立楠児小学校

卷之三

令和4年2月28日

正小人權慧

בְּרִית מָשֶׁה

104

指標	誰かが学ぶの向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにのある学校	
・県学習到達度調査で県平均との差を一桁以内にする ・授業がわかる(児童90%) ・わかる授業・問題解決型の授業を実践した(教師100%)	・学校が楽しいと感じる(児童90%) ・「心のとびら」の活用100% ・いじめの解消率100%	・毎日朝ごはんを食べた(児童90%) ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%)	・学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ・地域・中学校区学校と連携した取組を具体的に実践できた(教師80%)	・地域の在り方を見直し、学校と地域の連携に一層協力したいという意見があり、研修会を開くようにしてほしい。避難訓練では多くの人が協力していく、地域のつながりを感じた。さらに学校行事を地域にわたりやすく知らせる機会を増やしてほしい。	
意見 意見 見点目標に対する意見 見点目標に対する意見	登下校の話題はゲームばかりである。情報モラル・ルール作り等、親への啓発をしていくことが基礎学力をつける一番朝の読書タイムをすることでお落ち書きで学習に入れるのでないか、また、読み解力向上のために取り入れてみるのはどうか。  授業を参観すると、さらにお落ち書いて学習ができる。ただ、先生が中心で話をしている授業が多い。教室の環境や指導力の差は感じられるものの、全教員が頑張っていることはよくわかった。	授業で地域の人材と関わっているが、年度当初に人材希望を知らせてくれたら、地域に聞いて交流できる。また、その人たちの地域や仕事に対する思いを聞くことができる。また、その人の育成にもつながる。安心して学校に通えるようになるために、いじめや不登校の早期発見・対応が大事であるから、子供たちのことをしっかり見てほしい。  不登校の子供が増加傾向にある中で、個々の対応を丁寧にしてほしい。行政のサポート体制を知らなかつたり、申請しようとしない保護者も多い。学校の役割がますます大きくなってくると思うので、頑張ってほしい。	運動が嫌いな子やスポーツの結果が低いのが以前からの課題である。朝食の摂取率が上がってきたこと新しいことであるが、今後も朝食は、生活の基本であるから、保護者に理解を求めていってほしい。  体育の授業で運動をしつかりさせたら、休憩時間も運動場で遊ぶ子供が増えのではないか。休憩時間に先生たちが一緒に遊んでいる姿をよく見るので、外遊びの授業になってしまっていると思う。	コミュニケーションスクールの本来の在り方を見直し、学校と地域の連携に一層協力したいといふ意見があり、研修会を開くようにしてほしい。避難訓練では多くの人が協力していく、地域のつながりを感じた。さらに学校行事を地域にわたりやすく知らせる機会を増やしてほしい。  地域に出て、学習する子供たちを見ると生き生きしている。もっと、保護者や地域の人材に協力してもらつたらいい。学校運営協議会の在り方を見直し、強いつ連携体制を築くことが、喫緊の課題である。交通事故を無くすためにも、通学路の安全の見直し、スクールゾーンの設置等をお願いしたい。	
意取組状況に対する意見 意取組状況に対する意見	に取組の適切さの検証結果 次年度に向けた意見 改善次年度に向けた意見	依然として学力が低いため、早急な授業改善が求められる。先生方も忙しいと思うが、研修等を行って子供たちの指導に活かしてほしい。また、家庭の協力が必要であるため、学校全体で何度も啓発してほしい。各担任の先生にも保護者への連絡や放課後学習で頑張ってもらいたい。	いじめや暴力・暴言については、厳しく指導していくがいいといろんなことに波及する。先生によつて指導力に差があるのは仕方がないけれど、見つけた先生が、その場できちんと指導すれば補えると思う。	朝食の摂取率が毎年向上している(93%)のは、学校からの啓発の成果だと思う。ゲームの依存率が高くなっていて、放課後も外で遊んでいる子供が少ないので、運動不足である。体育の時間を通じて運動の好きな子にするしかない。	学校や学級の様子を学校・学級だけで紹介し、学校の取組が伝わっていると思う。しかし、文字が小さく読みにくないので、写真を入れたり、行事の告知を多くすると学校が身近になり、地域との関りが増える。回覧板でも見ることができるようにしたのでよかった。
3 その他のご意見	今年度は地域教材を使って学んでいる姿が大変よかつた。しかし、学校運営協議会委員がもっと関わっている事例を教えてもらった。来年度からは学校で研修会を開き、地域の人材のリスト作りをすることで強い連携が生まれる。遅刻していく子供、1人で登校する子供を見かける。集団登校しているとき(新年度2か月間)は殆ど見かけないが、冬になると多くなってくる。地域としては集団登校をしてほしいが、学校から指導できないものか。	登下校に見守り隊の人にだっこしてもらって喜んでいる子供も多い。先生や保護者が忙しいのはわかるが、かまつてしまい子に十分愛情を注いでほしい。年度当初から、生活のきまりや学習規律について、学校全体できちんと確認し、一丸となりた指導をお願いする。	早寝早起きができる子が増えているため、保護者への発信に力を入れてほしい。情報教育にも力を入れ、外部講師やソフトを使つて何度も指導してほしい。年間で呼びかけ、改善されていることを知らせることによって、相乗効果が生まれる。子供の将来を考えると、むし歯治療、歯磨き習慣も向上させたい。	コロナ禍ではあるが、安全に注意しながら少しずつ連携できることを増やしていただけるようにしてほしい。また、連合自治会長を運営協議会の委員になつてもらい、補見4校で連携していくことが大切だと感じているので、お願ひしたい。	